

100
号

g-kawaraban@googlegroups.com

学園町
かわら版

発行人 / 学園町自治会会長・人見良一
投稿・連絡先 / 学園町2丁目8番地14号
電話・FAX/421-2336
企画編集 / 学園町自治会広報委員会
編集長 / 浜名 純

購読無料・各戸配布／隔月刊行

緑ヶ丘幼稚園の看板も
4月に入って取り外された



緑ヶ丘幼稚園は学校法人東京緑ヶ丘学園（西川宗佳理事長）が運営しており、開園以来半世紀を超える歴史を持ち、毎朝200人の園児たちが登園していました。ご自身や、お子さん、お孫さんが通園していたという方も多いことでしょう。

その学校法人東京緑ヶ丘学園自体が、昨年3月に法人を解散することにしたのです。学校法人が解散するときは、敷地や建物など残った財産（残余財産）を、原則として他の学校法人に寄付することになっています。どうしても引き受け先の学校法人が見つからない場合、「競売」として一般に売りに出されるといったケースもあります。

学園町自治会運営委員会では、緑ヶ丘幼稚園廃園後の方向性などについて学校法人東京緑ヶ丘学園の理事の方々と昨年4月以降幾度か会談を持ちました。理事からは「住民のみなさんの意思を尊重し、学園町の緑の環境を守るように努力したい」という言葉をもらいました。また、まもなく誕生1000年を迎える学園町は、自由学園とともに歩んできた町であり、その残余財産は自由学園に引き受けてもらうのが最善と考え、昨年8月、自由学園にその意向を伝えました。

一方、学校法人東京緑ヶ丘学園も昨年7月25日の理事会で、残余財産の寄付先として、自由学園を第一候補とすることを決定、10月19日に正式に自由

廃園の緑ヶ丘幼稚園、自由学園が運営

住民の皆さんと協同して有効活用めざす

緑ヶ丘幼稚園（学園町1丁目）が昨年3月末に閉園になってから1年。今年3月20日に、東京都私立学校審議会（近藤彰郎会長）が同園の廃止を認可したことにより、4月からその跡地（園舎を含む）を学校法人自由学園が正式に管理・運営することになりました。樹齢80年を越えた木々に囲まれた緑の園地がどうなるのか、住民のみなさんもその動向に関心を寄せていました。自由学園では、「自治会や住民の皆さんと一緒に、跡地の有効活用の方法を考えていきたい。外に開かれたオープンなスペースを目指したいと思っています」と話しています。

学園に寄付の申込をしました。これに対して、自由学園は10月22日に開催した理事会で協議した結果、寄付を受け入れることを決議し、11月の評議委員会でも了承されました。そして、東京都私立学校審議会は今年3月20日に開催した令和4年度第11回審議会で、「学校法人東京緑ヶ丘学園の解散及び緑ヶ丘幼稚園の廃止」を認可し、小池東京都知事に答申しました。私立学校審議会は、私立学校法第9条による知事の諮問機関で、私立学校の設置、廃止、学校法人の設立認可等について審議する機関。この審議によって緑ヶ丘幼稚園の跡地は、正式に自由学園のものとなったわけです。

さて、それでは跡地をどのように利用するのか。自由学園では今後1年ぐらいいかけてじっくりと構想を練っていくとのこと。赤木博子事務局長は「昨年暮れの全職員の会議の際に、今後どんな使い方をしたいのか、アイデアや忌憚のない意見を寄せてください」と話しました。委員会を立ち上げて、一番いい活用方法を考えていこうと思っています」と説明します。

たとえば、①自由学園には45歳以上の人を対象としたリビングアカデミーという学びの場がありますが、その校舎をどうするか。②正門近くの「みらいかん」では初等部のアフタースクールを行っています。人気があり手狭になってきている。などの直近の課題があり、その解決のために施設の一部を使うことも考えられます。



赤木事務局長は「自治会をはじめ学園町の住民のみなさんにも積極的に参加してもらい、使い方を考えていきたい。シェアオフィスをやってみたくいか、ひばりが丘団地の『ひばりテラス118』のような住民が集える場が作れないか、第二のいのめカフェのようなものができないかなど、皆で話し合っていくと素晴らしいアイデアが出てくると思います。学校が使わない日には、住民がフリーマーケットをしたり、運動会を催すなどといったことも可能です。災害時の避難場所としても活用したいですね。いざという時にはテントもたくさん立てられます」と話します。

ところで、管理にはそれなりの経費が伴います。施設面で言えば、大きな厨房がなかったり、トイレのサイズなどが園児仕様になっているので改装が必要になってきます。また、毎年、庭木や落ち葉の手入れをはじめ、維持費もかかってきます。赤木事務局長は、最後に「自由学園と住民の方々が協同してウインウインの関係になるような、夢のあるオープンな施設にしたいですね」と結んでくれました。

変わりゆく学園町 住民みんなで守りたい

森 武生 (一丁目)



学園町に移って、約四分の一世紀が経過した。この間に学園町の風景は基本的には変わらないが、個々で見るとかなりの部分が少しずつ変わってきている。

道そのものは変わらずに、駅からパルコと図書館と教会の横を通って、自然に曲がって学園通りに至る。そこからは、北はまっすぐに自由学園の正門が見通せるし、西は1丁目をまっすぐに抜けてゆく街路が見通せる。角の林が変わらないのは、近隣住民の有志の毎朝の奉仕の成果で、いつも感謝している。樹木の世話ばかりでなく、季節の草花も按配して植えてくださり、目を楽しませてくれる。感謝状を何枚贈っても足りない。

しかし、よく見るとかなり変化をしている。そこから西へ入ると道の北側の「幽霊屋敷」は取り壊されて、保育園になってしまった。この保育園の建設に当たっては、近隣住民と学園町自治会がしっかりと動いてくれて、おかげさまで、なんとか我慢できる形で建設・運営されている。これらの人々の努力がなく、一方的に作られていたら、どんな形になったか、背筋がぞっとする。自治会の存在意義を高めた動きであったと思う。子供

たちの声が響き渡る町は、平和で心地よい町である。

しかし、その向かいに電気会社の寮があったが、これは跡形もなく、突然に取り壊された。しかも樹齢50年を超えるであろう、立派な、地域のシンボルのような高い松の木も、ある日突然にあつという間にバツサリと切り倒されてしまった。助ける間もなく、切り株からは、涙が出ていた。心からごめんねというも、無力感が募った。この場所は西東京市であり、学園町としては、発言権はないのであろう。今現在分譲住宅が着々と建築中であるが、かつてのあの立派な松の姿を思うと、なんとも貧相である。切り倒された樹々の無念さを思いやるばかりである。

学園町を縦横に交差する通りは、どれも立派で直線的である。その端に建つ住まいも実に立派なものが多い。しかし、近年の住民の老齢化に伴い、分割遺産相続が進んでいるように見え、その度に立派な老樹が切り倒され、風情のあつた立派な邸宅が消えてゆくのを見ることは、残念でならない。土地と建物の持ち主の個人はこの町への愛着はあると思われるが、建築会社や土木会社は、一切お構いなしである。今後自治会と

しては、建築前に何とか持ち主に話を聞くことができないだろうか？

自由学園の前の旧幼稚園の跡地の利用方法など、自治会が積極的に計画に関与してもいいと思われる。少しでも、この美しい景観を保つべく努力をしたいものである。伐つたり壊した後では、もうどうしようもないのである。

南部地域センターからのお知らせ

★なんぶまなぶシリーズ

《1》「ヨガ教室関係①～④」

①「ヨガ男塾！」

・4月14日(金)、21日(金)、5月12日(金)、19日(金)、6月2日(金)、9日(金)19:00～20:00

・参加費：500円(当日払い)

・定員：10名

・持ち物動きやすい服装・首にか

けられる長さのタオル・飲み物

・講師：ヨガインストラクター、

健康運動指導士中村陽子

②「日曜ヨガ教室」

・4月16日、5月21日、6月4日
1部10:00～11:00 集会室
2部13:00～14:00 集会室

③「健康体操」

・4月16日(日)、5月21日(日)、
6月4日(日)1部11:30～
12:30 集会室 2部14:30～
15:30 集会室
※上記②③の【参加費】、【定員】、
【持ち物等】、【講師】については、

いずれも①と同一。

④「アンチエイジングヨガ」

・4月23日(日)、5月14日(日)、
28日(日)19:00～20:00 集会室
・参加費：500円(当日払い)
・定員：10名・講師：ヨガインスト
ラクター AZUSA

◇

《2》ヨガ教室以外のイベント

★「ベビーマッサージ」

・4月10日(月)、5月8日(月)、
6月12日(月)10:00～12:
00・参加費2000円(当日払い・
オイル代込)

・講師飯岡祐子・定員6組・生後

2か月～1歳前後の赤ちゃんとも

マさん・妊婦さん

★現役子育てママによる「ファミ

リーコンサート」

・4月15日(土)開場10:00 開演
10:30・料金大人500円小学生
250円未就学児無料

★「ミュージック畑」

・4月23日(日)開場1時30分開
演20:00・定員：80名・入場料:
200円

★「60歳からの音楽で脳トレ体操」

・4月24日(月)・5月29日(月)
10:15～11:30・定員10名・参
加費1000円

★「妊婦さんとママのためのこ

ころとからだのセルフケアレッス
ン」
・4月24日(月)、5月22日(月)
10:00～11:30・定員8名(親
子参加は4組まで)
・参加費500円

・講師：ひばり mannan

・対象：妊娠中の不安な気持ちを
共有したい方、子育ての悩みを共
有したい方、マタニティライフを
ナチュラルなケアで過ごしたい方
・テーマ、4月は「春のお喋り会」、
5月は「ママとベビーのための日
焼け対策」

◇

★「なんぶおしゃべりサロン」

・5月7日(日)、6月4日(日)
13:30～15:30 音楽室・参加費
100円・定員10名

★「ひばりんフェスタ」ゴールデ
ンウィークの最終日、家族みんな
で楽しめる一日を！

・5月7日(日)10:00～16:00

・内容：地場野菜・パン・焼き菓子
・お弁当・手作り雑貨の販売・ワー
クシヨップ、パパママ向けの癒し
コーナー

★「初めての投資勉強会」投資に
興味はあるけれど、一歩踏み出せ
ないあなたへ。賢く「金育」しま
しょう！

・5月20日(土)13:30～15:00・
定員10人・無料(事前予約制)講
師ライフプランナー桂宗一郎

★「バクさんとその仲間と音楽と」

・5月28日(日)開場13:15開
演13:30～15:30・定員50名・
参加費500円・持ち物筆記用具
※各イベント問合せ

南部地域センター(指定管理者
(株)アイン) 042-451-2021
Higashikurume_nanbu@s-seiun.
co.jp

元しのめ茶寮寮長、自治会副会長 芦澤広太郎君を天に送る

鈴木康平（自由学園男子部31回生）

芦澤君と私は、自由学園初等部入学以来、最高学部卒業までの16年間（1959年～1974年）をクラスメイトとして過ごしました。初等部時代には、休日にもよく学校に遊びに来て、当時はまだ家が建っていなかった雑木林で遊んだり、彼のお宅にもよく邪魔したことを覚えています。

16年間の中の一歩の思い出は、最高学部4年間のサッカー部での活動です。東京都1部リーグで、東京学芸・成蹊・学習院・立教・上智・駒沢・明治学院など強豪大学との秋のリーグ戦では、彼も私も1年から出場して戦いました。4年生の時は彼が主将を務め、好成績を収めて関東大会に進み、最後は東大御殿下グラウンドで行われた2回戦で立教に0対1で敗れ、涙を流して終えたことが忘れられ

ません。その時の思い出は、彼自身が『自由学園サッカー史』（自由学園サッカー部OB会、2007年発行）に書いています。

最高学部卒業後、彼はゼネラル石油に就職。大阪、広島、山口など地方でも勤務し、その後早期退職をして2012年に学園町に家族とともに戻りました。学園町に戻ってからは、自分が育った学園町に住む人たちとの関係を大切に、自治会での活動、さらに地域に開かれた「自由学園しのめ茶寮」の寮長の責任を果たすなど、地域のために積極的な力を出していました。

ところが、今から7年前に発病し、森武生先生のお世話で駒込病院に入院。幸いにも型が適合した弟さんから骨髄の提供を受けて移植を行うことで危機を脱しました。



そのころ、同級生の寺尾龍彦牧師（日本基督教団）が日曜日の朝にしのめ茶寮2階で行っていた「学園町礼拝」に私と一緒に出席するようになりました。奏楽者がお休みされた時には、ヒムプレーヤー（讚美歌自



動演奏機）を操作して讚美歌の伴奏を担当してくれました。またクリスマス礼拝後の祝会での司会も務めてくれました。目が不自由で行動が制限されている寺尾君を連れて2人でよく外食もしていました。

移植後、体調も安定していましたが、昨年5月の定期診断で緊急入院となり、6月に退院してきたときには、入院期間が長かったこともあって、歩行が困難となつてベッドの上での生活になりました。それでも見舞いにくくと、いつも元気に前向きな会話ができて、食事でも普通に食べられました。ご家族の介護も大変だったと思います。今年になって1月6日に清瀬市の信愛病院のホスピス病棟に入院。その後も安定した状態が続いていましたが、2月下旬に体調が急変し、その後は眠り続けて3月2日に息を引き取りました。

昨年5月の入院中にLINEでもらったメッセージが残っています。「賛美歌310.510.聖書マタイの男子部賛歌、よろしくお願います。（原文のまま）」（5月30日）おそらく自由が利かなくなりはじめた指で打ったものだと思います。これは彼の遺言だと思ったので、3月7日に行われた告別式の最後に、集まることのできる同級生で讚美歌と男子部賛歌を歌って彼を送ることをご家族にお願いしました。当日は同級生だけでなく先輩・後輩も加わって20人以上の人が集まって歌を歌って彼を送ることができました。

病気との闘いは想像を絶します。しかし、彼は最後まで自分の状況を恨むようなことは全くなく、前を向いて明るい笑顔を見せて続けてくれました。その背後には長い間のご家族の支えがあったことを思い、奥様をはじめご家族に心より感謝を申し上げます。

◆第1回：4月22日（土）
来校 14:00～15:00

◆第2回：5月27日（土）
来校 14:30～15:00

◆オンライン 14:00～15:00
中等科・高等科入学希望の方へ学校説明会を行います。

対象：小学4年生～中学3年生
自由学園初等部
学校見学（キャンパス案内）

4月22日（土）9:30～
10:30/11:00～12:00

自由学園初等部
児童がくるる学校説明会

5月20日（土）9:30～11:00

【全体説明・校内見学・個別相談】
※上記催しについて、申込みは学園HPからお願いします。

また、詳細は自由学園のホームページに掲載しております。

※お問合せ先：自由学園広報本部
TEL: 042-428-2123

e-mail: kh@jiyuac.jp
URL: https://www.jiyuac.jp

自由学園からの お知らせ

自由学園幼児生活団幼稚園
園庭開放

5月24日（水）10:00～11:00

5月1日（木）10:00～11:00

6月7日（水）10:00～11:00

会場：自由学園幼児生活団幼稚園

花だより②

もうすぐ母の日

カーネーションで楽しもう



立川まり



二回お休みでしたので久しぶりの投稿です。

春になり、あつという間に桜も終わり新緑の季節になりました。青梅街道を車で走っていると櫻(けやき)や銀杏(いちよう)の若葉から空が透けてとても爽やかな気分になります。

市場では常に季節早取りのため、春の花、チューリップ、スイトピーなどはそろそろ終わります。かわりに枝物がたくさん出てきてこちらも緑の多いにぎやかな季節になります。

◇ 花屋さんでは母の日の注文が入りだしあわただしくなってきました。

最近では母の日の贈り物は花ばかりではなくなってきましたが、やはり少しでも花が添えられると気持ちが和むのではないのでしょうか。

母の日といえばカーネーション。それも飽きたという方もいると思いますが、最近のカーネーションはバリエーションが増え、カラフルなものから大人っぽいもの、アースカラー、複色のものなど、選択肢がとても多くなりました。

大きく分けて二輪咲のスタンダードタイプ、枝分かれして複数の花をつけるスプレータイプがあります。

スタンダードタイプはサイズも大きめで一輪でも飾れますし、アレンジなどの主役にもなり華やかです。

スプレータイプはそれに比べて花が小さめで可愛らしく蕾もついていてにぎやかです。※蕾は色の出していないグリーンのもものは咲きませんが、蕾自身のかたちで楽しめます。

ニュアンスのあるカーネーションをアレンジに加えるとても素敵に仕上がるので母の日以外でもおススメですが、せっかくなので母の日に赤やピンクだけでなくいろいろなカーネーションを試してみませんか。

◇ お手入れですが花もちはとても良いです。暖かくなると水が汚れる

てくるので水替えと3cm程の切り戻しがおすすです。

ちなみに花屋さんとしては間際でなく、早めにご注文をいただ

市内で火災急増、死者も発生
原因は、放火・タバコ・電気器具

東久留米市内で火災が連続して発生、死者も出ています。同署の調べによると、今年に入ってから市内の火災発生件数は、4月4日現在で25件。昨年の同時期は13件ですから、2倍の発生となっており、死者も2名出ています。

昨年1年では41件発生しており、その原因で最も多いのは、放火(疑いを含む)とタバコで、次

いで電気器具の接触部の加熱となつています。このため、「家の周りに段ボールや紙類などの可燃物を放置しない」、「タバコの後始末を確実にし、寝タバコは絶対しない」、「コンセントを確認し、溜まつているほこりを掃除する」ことを日頃から実行することが大切

です。ところで、火災の早期発見に非常に有効なのが住宅用火災警報機。火災予防条例により、居間やリビング、寝室などすべての居室と階段、台所の天井または壁への設置が義務付けられています(ただし、共同住宅等で自動火災報知器がある建物は、火災警報機の設置義務はない)。

耐用年数は約10年と言われてお

ると助かります。

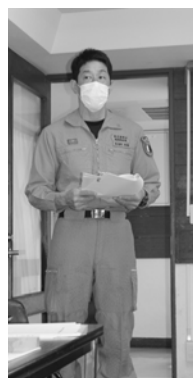
(フローラルライフ) 立川まりさん 042423-8646

り、10年を目安に交換することや、ほこりで汚れていると感知しにくくなるので定期的に乾いた布で拭き取るなどの手入れをすること、そして半年に1回以上点検をすることが重要になってきます。点検は警報機のボタンを押すかヒモをひくだけの簡単な作業です。

さて、東京消防庁によると、過去5年の住宅火災による死者の7割が高齢者です。そこで、東久留米消防署では、独り暮らしのお年寄りや体が不自由な人を対象とした住まいの防火防災診断を実施しています。ご本人の了承を得たうえで、お宅を訪問し、火災、地震等の災害や家庭内の事故による被害の危険性について、改善方法のアドバイスをしています。ご希望の方や、相談・質問のある方は東久留米消防署の警防課防災安全係(042-471-0119内線311, 322, 335)まで気軽にご連絡ください。

組長会開催
火災と防災の講演

学園町自治会の組長会が4月2日、自由学園しのめ茶寮2階の



大会議室で開催されました。組長27人が出席。組長の仕事についてや、前期自治会活動スケジュールに関しての説明などがありました。

また、東久留米消防署特別救助隊の西條胤光隊長「写真」から、急増する市内の火災とその対策(市内の火災急増 死者も発生」の記事参照)について、「地震と防災」についての講演がありました。

今年は、関東大震災から100年。多摩東部直下地震(M7.3)が起きた場合(冬の夕方、風速8m)、東久留米市で死者46人、負傷者620人、火災による焼失1211棟などの被害が想定されること。さらに、震災時の風速が毎秒15mの場合は、浅間町で発生した火災が西武線の線路を越えて学園町と南沢に延焼する(その逆も同様)ことが想定されており、まさに震災時、浅間町・学園町・南沢地域は運命共同体である、という話でした。

ちなみに東京都の区分によると、市内では本町2丁目と浅間町1、3丁目が木造住宅密集地に指定され、地域危険度測定調査では浅間町が危険性の高い地域にランクされています。